

夏休み 子どもの安全対策



声掛け、連れ去りなど、子どもが被害になる犯罪が増えています。特に、夏は被害が多発しています。「地域の子は地域で守る」を合言葉に子どもが安全で安心して暮らせる地域社会にしましょう！

子どもが被害にあう時の特徴

- 午後2時から6時が危ない
 〈学校の下校時間から夕食までの時間に被害が集中している〉
- ひとりでいる時は狙われる
 〈複数であれば一緒にいた子どもが周囲の大人に事件を知らせることができる〉
- 甘い言葉はわながいっぱい
 〈ゲームを一緒にやろうよ!〉
 「迷子になった犬と一緒に捜して!」など、子どもがつい気を許してしまう言葉で誘い出す
- 犯罪に巻き込まれても、誰にも言わない
 〈恥ずかしさや恐怖、親にしかられるかもしれないなどの理由で、被害にあっても黙っている〉

我が家のルールを作りましょう

- 子どもを犯罪から守るため、日々の生活の中で防犯指導をしましょう。
- ひとりで遊ばない
- 知らない人についていけない
- 出かける時には必ず家の人に行き先を言う
- 何かあったら大声で助けを呼ぶ
- 何かあったら必ず家の人に言う

子どもを犯罪被害にあわせないための対応策

- 「子ども110番の家」の場所と助けを求める方法を確認する
- 通学路、よく遊ぶ場所、家の近所など、人通りの少ない場所や危険な場所を確認する
- 子どもがいつも遊ぶ友達や場所を把握しておく
- 友達の保護者とは日頃から情報交換をする
- 日頃から家族の「コミュニケーション」を図る
- 声を掛けられないように、氏名入りの持ち物は外から見えないようにする
- 車から声を掛けられたら、両手を広げた幅以上の距離まで離れるようにさせる
- 自宅のドアを開けるときは、周囲を見回して安全を確認してから力ギを開けるようにさせる
- 大人が留守の時の訪問者には、ドアを開けないようにさせる
- 事前に電話で、子どもだけであることを確認する場合があるので、大人が不在であることは、絶対に言わせないようにする

地域で協力しましょう

- 学校や保護者と連携して地域の子どもの達を守りましょう。
- ひとりで遊んでいる子や、遅くまで遊んでいる子がいたら一声掛ける
- 登下校時など、子どもが外に出る時間帯に散歩するなど、なるべく外に出る

イカのおすし

(知らない人に) **ついてイカない!**
 (知らない車に) **のらない!**
 (連れていかれそうになったら)
おおきな声で叫ぶ!
 (安全な場所へ) **すぐ逃げる!**
 (近くの大人や警察に) **しらせる!**

